

森本武利編著／酒井謙一訳

京都療病院お雇い医師ショイベ

Dr. Beth Schenk: Das Leben und die Arbeit als Arzt von der Medizinischen Schule von Kyoto : Aus seinen Briefen an die Mutter

—滞日書簡から—

2011年5月刊



日独交流150周年
Jahre Freundschaft
Deutschland-Japan

A5判・口絵8頁・本文346頁／定価7,350円(税込) ISBN978-4-7842-1581-2

明治のあけぼのの間もない1872(明治5)年、お雇い医師を招いて発足した京都療病院(現・京都府立医科大学)。そこで初代ヨンケル、マンスフェルトに続いて招かれたのがドイツ人医師ハインリッヒ・ボート・ショイベ(1853~1923, 滞日は1877~82)であった。ショイベは治療・教育・研究にあたって優れた成果を挙げたが、とりわけ脚気・寄生虫の研究やアイヌの民俗学的研究において大きな足跡を残している。同様のお雇い医師であり、ドイツで師ブンダーリッヒの元でともに学んでいる、ショイベの兄弟子分のベルツ(1849~1913)が日本近代医学の父としてよく知られる一方、ショイベについては文献や資料が少なく、これまでほとんど知られていない。本書は、ショイベが滞日中に母へ送った書簡のコピーを、ショイベの遺族から得た編著者が、その翻訳を通して、ショイベの生涯をはじめ、ほかのお雇い外国人達との交流や居留地での生活から明治初期の京都の風俗にいたるまでを、生き生きとよみがえらせる。巻頭に口絵写真、巻末にショイベの業績リスト・年譜を付す。

目次

第I部 滞日書簡—親愛なる母へ—

- 1877年(明治10年) ライプツィヒから日本への旅/日本への到着/初めてのクリスマス
- 1878年(明治11年) 京都の生活1/京都の生活2/京都のお祭り/夏期休暇/仕事の進展/京都の自然
- 1879年(明治12年) 二度目のクリスマスとお正月/京都の生活3/復活祭休暇/コレラの流行/夏期休暇旅行/ベルツ京都訪問/三度目の師走
- 1880年(明治13年) ハインリヒ親王吹田事件/京都の歓楽街/東京へベルツを訪問/アイヌの民俗学的研究/京都府から延長契約の話/新しい療病院・医学校の新築/蝦夷地への調査旅行/馬車を購入/クリスマスを神戸で
- 1881年(明治14年) 榎村知事の辞任/東京旅行/講義再開/夏期休暇と都での生活/解雇通知と惜別の動き
- 1882年(明治15年) 東京旅行/帰国準備/帰国の途へ

第II部 京都療病院とお雇い医師

京都療病院の発足とお雇い医師/京都療病院着任までのショイベ/ショイベの日本での活躍/帰国後のショイベ

ショイベの業績(著書リスト)
年譜: ショイベとその時代



滞日中のボート・ショイベ

◎編著者◎もりもと・たけとし...1936年生。1978年京都府立医科大学生理学教室助手を経て教授、のち名誉教授。また2005年神戸女子短期大学、2007年神戸女子大学名誉教授。

◎訳者◎さかい・けんいち...1949年生。京都大学大学院文学研究科独文学専攻修士課程修了。静岡女子大学文学部助教授等を経て2006年、京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科教授。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 【2011年6月27日より左記に移転】 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	京都療病院お雇い医師ショイベ	本体7,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1581-2	
お名前	tel				
	e-mail				
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由(このらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引(書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				書店番線印

近代医療のあけぼの 幕末・明治の医事制度

青柳精一著

遣外使節団の病院視察から、ドイツ医学の導入および医学校の創設、看護師・女医の誕生、医師法の制定と、よりよい医療を求めた先達のあゆみをたどる。長年医療ジャーナリズムに従事してきた著者が、幕末・明治の医事制度と社会背景について膨大な史料をもとに考証する。

▶A5判・576頁／定価 4,935円

ISBN978-4-7842-1583-6

***ベルツの生涯 近代医学導入の父**

安井広著

日本の近代医学発展の基礎を築いた一人であるベルツの生涯をその業績と足跡からたどる著者ライフワークの遺著。

【内容】明治初期の東京医学校／来日以前の経歴と日本における生活／内科学著書から／栄養論／温泉医学／中央衛生会／ドイツ東洋文化研究協会／人類学／在日中の日記／ドイツにおける晩年の日記

▶A5判・450頁／定価 12,600円

ISBN4-7842-0876-3

脚気の歴史 ビタミンの発見

山下政三著

ビタミン発見の背景には、脚気との関いの歴史や、日本の漢方脚気医学の陰の貢献があり、エイクマン以後、鈴木梅太郎のオリザニン、フンクのビタミンなど、さまざまなビタミン発見の伝説も語られる。本書は、ビタミンB1欠乏症の専門家が、脚気の歴史をもとに全く新しい視点からビタミン発見の真相解明に迫る20世紀医療文化史。

▶A5判・540頁／定価 14,700円

ISBN4-7842-0881-X

近代医史学論考 阿知波五郎論文集 上

阿知波五郎著

戦後欧米の医史学研究の動向に触発され、比較医史学の視点からヨーロッパ医学受容の歴史を自らのテーマとし、初めてヨーロッパ医学の影響を実証的に体系化した氏の論稿のうち、新生日本医史学の息吹が感じとられる記念すべき「近代日本外科学の成立」と明治初期医学関係論文14篇を収める。

▶A5判・420頁／定価 6,300円

ISBN4-7842-0448-2

小児科学の史的変遷

深瀬泰巨著

昭和36(1961)年より小児科開業医として永く地域医療に携わってきた著者が、内外の医学書原著をひもとき、小児科学の誕生や発展の跡をたどった論考集。とりわけ小児感染症の歴史の変遷を通観し、近年大学生の間で再流行した麻疹など、忘れ去られつつある感染症を考究する。

▶A5判・604頁／定価 9,450円

ISBN978-4-7842-1526-3

近代日本と地域振興 京都府の近代

高久嶺之介著

近代日本の地域社会の姿を、京都府下における、明治前期の京都宮津間車道の開鑿・明治前期～中期にかけての琵琶湖疏水と鴨川運河の開鑿・明治初期～昭和の敗戦直後までの天橋立の保存とその振興・明治初期～昭和の敗戦直後にかけての童仙房村の開拓、という特定のテーマを取り上げ、地域振興の視点から考察する。

▶A5判・364頁／定価 6,825円

ISBN978-4-7842-1570-6

William Smith Clarkの教育思想の研究

小枝弘和著

札幌農学校の自由教育の系譜

ウィリアム・スミス・クラーク(1826-86)の教育思想の全体像を明らかにする。アメリカに存在するクラーク関連資料や、手紙や草稿類などの活字化されていない資料をも十分に活用し、幼少期にさかのぼって彼が過ごしてきた環境をできるだけ明らかにすることで、その教育思想や実践の特質の主要因を究明する。

▶A5判・380頁／定価 3,150円

ISBN978-4-7842-1561-4

明治期外国人叙勲史料集成〔全6巻〕

梅溪昇編

国立公文書館所蔵の「公文録」(8-18年)「官吏進退」(19-25年)「叙勲」(26-45年)から、外国人叙勲に関する史料を選択・集成したもので、2087件、31ヶ国、延約7600名を含む。史料には叙勲理由・経歴などが記され、政治・外交・経済・産業・社会・学術・文化・科学・技術など多方面にわたる明治期の国際環境を知ることが出来る。

▶B5判・総3120頁／定価 157,500円

ISBN4-7842-0666-3

緒方惟準伝 緒方家の人々とその周辺

中山沃著

【7月刊行予定】

洪庵の嫡子で、ポンペ、ボードインらに学んだ惟準は、宮廷医療への西洋医学導入、大阪大学医学部・軍医学校の前身創設、大阪での医療基盤確立などに貢献。その自叙伝「緒方惟準先生一夕話」を軸として、著者が博搜した資料とともにその生涯と交遊を詳述。幕末・明治初期の医学界をものがたる基本図書。

▶A5判・1008頁／定価 15,750円

ISBN978-4-7842-1563-8

東大医学部初代総理池田謙斎〔全2冊〕

池田文書研究会編

池田文書の研究

池田謙斎宛の約4,000通の文書類を翻刻。内容は、東大医学部の前身である幕府医学所関係文書およびその関係者からの書簡、ならびに池田謙斎宛の書簡などである。本書は、東京大学中樞部・陸軍軍医部・宮内省侍医として関係のあった各官家、同僚侍医、また患者としての華族や高級官僚などによる謙斎宛書簡を上・下2分冊で収録。

▶A5判・総764頁／揃定価 15,330円

***日本梅毒史の研究 医療・社会・国家**

福田真人・鈴木則子編

ペニシリンの出現で「過去の病」のイメージすらある梅毒だが一。いままなぜ梅毒か。日本人は自らの身体や性、性感染症とどう対峙してきたのか。「家」・共同体・国家、さらに国際社会がどのような形でそれに介入し、その態度を変容させてきたのか。これらのテーマをめぐって専門領域を異にする研究者による共同研究の成果9篇を収める。

▶A5判・392頁／定価 7,350円

ISBN4-7842-1247-7

医史学点描 阿知波五郎論文集 下

阿知波五郎著

「世界医学教育史」を祈念しつつ逝った著者の論稿から医学教育史関係15篇、京都・外科関係人物誌17篇、医学随想28篇を収めた。推理小説をも物したその筆のささと、海外の医史学書を精力的に獵歩した視野の広さ、さらに相次いで肉親の死を体験した氏のヒューマンで真摯なまなざしがうかがえる珠玉の論集。

▶A5判・420頁／定価 7,350円

ISBN4-7842-0449-0

***京の民間医療信仰**

奥沢康正著

安産・長寿・病氣平癒祈願など、先端医療技術の発達した現代でも神仏の加護を願う信仰は根強く生きている。本書は、京都の眼科医が市内の寺社の民間医療信仰を紹介した異色の京都案内。170の寺社の御利益やその歴史的背景を、地図や写真も交えながら紹介し、現代における信仰のあり様などを考察する。

▶A5判・340頁／定価 2,940円

ISBN4-7842-0642-6

北垣国道日記「塵海」

塵海研究会編

明治期の地方官・北垣国道(1836-1916)が京都府知事に就任した明治14年から、北海道庁長官などを経て京都に隠棲した明治34年までの活動を書き記した日記「塵海」の翻刻。これまで明らかではなかった明治期地方官の実情を記した第一級資料で、京都のみならず、中央政治史や地方自治・土木史・北海道史研究の進展に寄与する資料。

▶A5判・652頁／定価 10,290円

ISBN978-4-7842-1499-0

札幌農学校と英語教育

外山敏雄著

1876年開設の札幌農学校は、北海道開拓の人材養成のみならず、内村鑑三・新渡戸稲造など文化史・思想史上の巨人たちを生み出した。その類まれな光芒を放つ草創期の札幌農学校の教育制度、お雇い教師、所蔵英書、出身の英学者たちに焦点をおき、その特異な存在と役割を明らかにする。

▶A5判・168頁／定価 3,990円

ISBN4-7842-0691-4

鉄道日本文化史考

宇田正著

日本の近代化のなかで陸蒸気＝鉄道がもたらしたものは、はかり知れない。本書では「文化の鏡」としての鉄道をとりあげ、知識人の体験や一般人の認識から民俗・観光(巡礼)・教育との関わりを通して、鉄道が日本人の内面的形成に果たした文化的役割を明らかにする。

▶A5判・352頁／定価 5,775円

ISBN978-4-7842-1336-8

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。

電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。